



取扱説明書

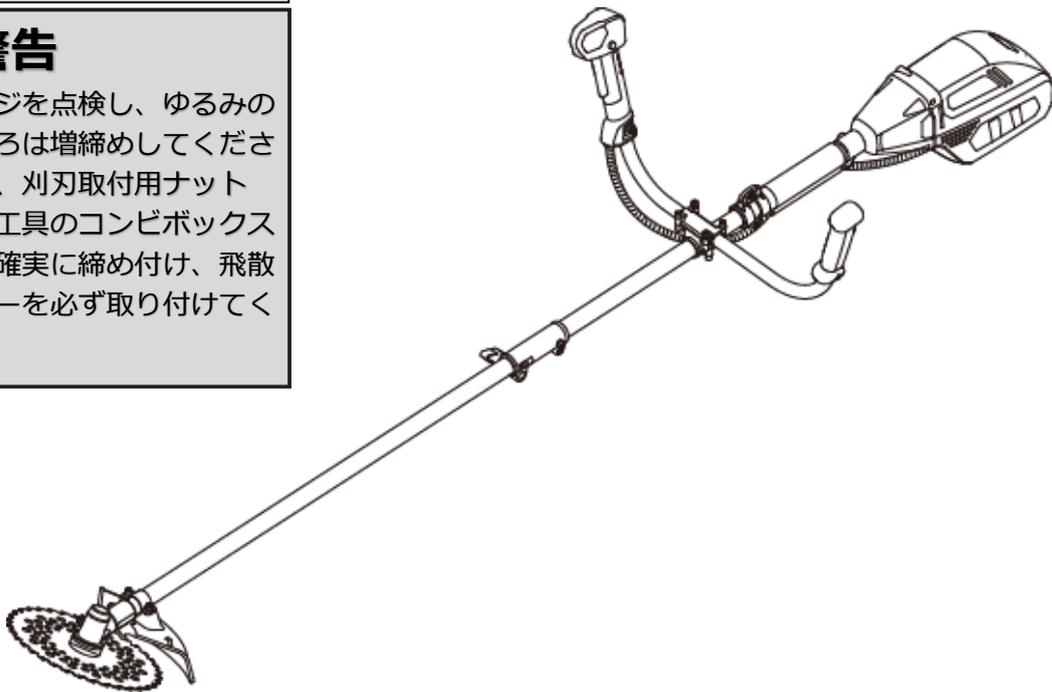
バッテリー刈払機

BDC1825Li / BDC3650Li

はじめてお使いになる前に
P20の様にバッテリーの充電を
してください。

⚠ 警告

各部のネジを点検し、ゆるみのあるところは増締めしてください。また、刈刃取付用ナットは、付属工具のコンビボックススパナで確実に締め付け、飛散防護カバーを必ず取り付けてください。



ご使用になる前に必ずお読みください。
まず始めに『充電製品共通の安全上のご注意』を
お読みください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーのリサイクルにご協力ください。

目 次

1. はじめに	3
2. 主要諸元	4
3. 充電製品共通の安全上のご注意.....	5
4. 安全上のご注意.....	8
5.  警告ラベルの取扱い	12
6. 各部のなまえと付属品	13
7. 組立・準備	15
8. 作業の準備	23
9. 刈払い作業	27
10. 点検整備とその要領	29
11. 長期保管の方法.....	30
12. 故障と対策	30
13. サービスについて	

1 はじめに

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。この取扱説明書は、安全で快適な作業を行っていただくために、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明してあります。ご使用前によくお読みいただき十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮できるようにこの冊子をご活用ください。また、お読みになった後必ず大切に保存し、わからないことや自信の持てないことがあったときには取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などによりお買上げの製品と本書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。本製品についてお気付きの点がございましたらお買上げ店にお問い合わせください。

■使用目的について

本製品は次のような作業にご使用いただけます。

- 本製品は雑草刈を目的とした製品です。この使用目的範囲を逸脱しての使用が原因での事故に関して一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。改造・分解した場合、保証が除外されることがあります。

■注意表示について

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険**もし警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるもの。

 **警告**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるもの。

 **注意**その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。

注意その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性のあるもの。

■製品を他人に貸すとき、運転させるとき

事前に運転の仕方を教え、機械に貼ってある  (安全注意マーク) 印の付いている警告ラベルも一枚ずつ説明してあげてください。製品と一緒に取扱説明書を渡し、よく読んで理解し取扱い方法を会得してから作業するように指導してください。とくに禁止事項については念を入れて説明してください。ご家族などに運転させるときも同じように説明してください。

■国際単位について

- 本取扱説明書には、国際単位を表示しています。下記の換算数値をよく読んでご理解の上、ご使用ください。

換算表

量	新計量法対応表示	換算	従来が表示	備考
回転速度	[min ⁻¹](毎分)	1[min ⁻¹]=1[rpm]	[rpm]	※
力のモーメント	[N・cm]	9.8[N・cm]=1[kgf・cm]	[kgf・cm]	

※注意事項：単位時間における回転数については、「回転数」ではなく、「回転速度」と表示します。

2 主要諸元

型式	BDC1825Li
電動機	直流ブラシレスモータ
バッテリー型式	専用リチウムイオンバッテリー BYP1825
バッテリー電圧・容量	18V-2.5Ah
充電器型式	専用充電器 BYC18
充電器入力電圧	100V (50/60Hz)
充電時間	約60分
1 充電あたりの無負荷運転時間※ 1	低速80分、中速50分、高速35分
回転速度※3	2500 / 3500 / 5000 min ⁻¹
刈刃回転方向	左(作業者から見て)
標準刈刃	チップソー (230mm)
本機寸法	長さ1900mmx 幅 580mm x 高さ 390mm
質量※ 2	4.0kg

型式	BDC3650Li
電動機	直流ブラシレスモータ
バッテリー型式	専用リチウムイオンバッテリー BYP3650
バッテリー電圧・容量	36V-5.0Ah
充電器型式	専用充電器 BYC36
充電器入力電圧	100V (50/60Hz)
充電時間	約90分
1 充電あたりの無負荷運転時間※ 1	低速モード320分、中速65分、高速45分
回転速度※3	低速モード / 5500 / 6500 min ⁻¹
刈刃回転方向	左(作業者から見て)
標準刈刃	チップソー (230mm)
本機寸法	長さ1925mmx 幅 580mm x 高さ 410mm
質量 ※2	4.2kg

・改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。

※1：標準付属の刈刃をつけた状態の無負荷運転時間(最大値)です。

(最長時間は低速無負荷運転時間です。) ナイロンローターの場合は運転時間は短くなります。
作業時間は作業対象、作業方法、作業環境などの条件により異なります。

※2：質量はバッテリー、肩掛バンド、刈刃、飛散防護カバー、カバー取付金具類を除いた質量です。

※3：低速モードは作業負荷によって自動で回転速度が切り替わります。

回転速度は作業対象、作業方法、作業環境などの条件によって前後することがあります。
また、バッテリーの充電状態によっても前後することがあります。

3

充電製品共通の安全上のご注意

- ・感電・火災・重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・「充電製品」とは、充電式（バッテリーパック式）電動作業機を示します。

▲ 危険

- バッテリーの液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の診察を受けてください。失明の可能性があります。
- 充電には必ず標準付属の充電器をご使用ください。他の充電器を使うと、バッテリーが破裂する原因となります。
- 次のことを守ってバッテリーをご使用ください。間違っていると、バッテリーを漏液、発熱、発火、破裂させる原因となります。
 - 分解・改造しないでください。○ハンダ付けしないでください。
 - 充電には、専用の充電器をご使用ください。○火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
 - バッテリーの端子部（+端子と-端子など）を金属類で接続しないでください。
 - 指定された機器以外に接続しないでください。
 - 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口などに直接接続しないでください。

▲ 警告

1)製品

- 本製品はバッテリーを装着するといつでも運転可能な状態になり、運搬時など意図せず運転されるおそれがあります。運搬時、調整時には必ずバッテリーを取り外してください。
- 無理な作業は行わないでください。機械が故障する原因になります。

2)作業環境

- 事故の原因となりますので、作業場は、整理整頓を行ってください。また、十分に明るくしてください。
- 夜間や悪天候時（霧、降雨、降雪、強風、雷）では使用しないでください。充電製品から発生する火花が発火や爆発の原因になりますので、可燃性の液体・ガス・粉じんのある場所での使用しないでください。
- 本製品はバッテリーを装着するといつでも運転可能な状態になり、運搬時など意図せず運転されるおそれがあります。運搬時、調整時には必ずバッテリーを取り外してください。
- 使用中は他の人を作業場に近づけないでください。
- 極端な高温や低温の環境下では十分な性能が得られません。
- 周囲温度が5～35℃を目安に使用してください。

3)電気に関する安全事項

- 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。感電や火災の原因になります。
- 充電製品は湿気の高い場所での使用、濡れた場所、雨の中では使用しないでください。内部に水が入ると感電やバッテリー短絡の危険性があります。
- 電源コードが損傷し、感電する可能性もあるため、充電器のコードは乱暴に取扱わないでください。

4)作業に関する安全事項

- 「取扱説明書」を良くお読みになり、充電製品の操作を理解した方以外は使用しないでください。
- 製品を使用する場合は、作業方法、作業の仕方、周りの状況など注意し慎重に作業してください。

警告

- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品などを飲んだりしている場合は、充電製品を使用しないでください。
- 16歳未満の人には作業させないでください。
- 事故防止のため保護メガネ、防じんマスク、安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤーマフ）などの安全保護具を使用してください。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保ってください。
- 回転部に巻き込まれるおそれがあるため、だぶついた衣服やネックレスなどの装飾具は着用しないでください。
- 長い髪は帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

5) 充電製品の使用と手入れ

- 無理して使用しないでください。充電製品の破損ばかりでなく、事故のおそれもあります。
- スイッチに異常がないか点検し、異常がある場合は使用せず修理してください。
- 本機の調整、付属品の交換、保管、修理などの作業前にはスイッチを切り、バッテリーを本機から取り外してください。不意に運転状態になる場合もあり危険です。
- 保管は乾燥した場所にしてください。他の人がさわらない場所にしてください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか使用前に確認してください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器のコードも定期的に点検し、損傷がある場合は、使用を中止し修理依頼をしてください。
- 安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをして、よく切れる状態を保ってください。

6) バッテリーの取扱い

- 不意に運転し事故に繋がりますので、バッテリーを取り付ける前に運転状態になっていないことを確認してください。
- 火災、けが、故障、破裂などに繋がるため、専用バッテリー以外は使用しないでください。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。ごみ収集車内で事故の原因になります。
- バッテリーを周辺温度 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。

7) 充電中の注意

- 爆発や火災のおそれがあるため、ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所で充電しないでください。
- 火災のおそれがあるため、紙類、布団などの布類、畳、カーペットなどの上で充電しないでください。
- 充電中に発熱などの異常が発生した場合は、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。発煙、発火、破裂のおそれがあります。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。エンジン発電機などは火災のおそれがあるため使用しないでください。

警告

- 周囲温度が 10 ～ 40℃の範囲で充電してください。破裂や火災のおそれがあります。
- バッテリーは換気の良い場所で充電してください。充電中にバッテリーや充電器を布などで覆わないようにしてください。破裂や火災の原因になります。
- 使用していない場合は、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

8)整備

- 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行わないでください。発火や異常動作のおそれがあります。
- モータは発光することがあります。
- ご使用中に異常を感じた際は、ただちに使用を中止し、バッテリーを取り外し、販売店に修理の依頼をしてください。
- <異常・故障例：異常に熱くなる、焦げくさいにおい、ビリビリと電気を感じる等>

9)その他の安全事項

- 使用する前に部品の損傷がないか良く確認してください。
- 付属品やアタッチメントは当社指定のもの以外は使用しないでください。事故やけがの原因になります。

この取扱説明書は大切に保管してください。

4 安全上のご注意

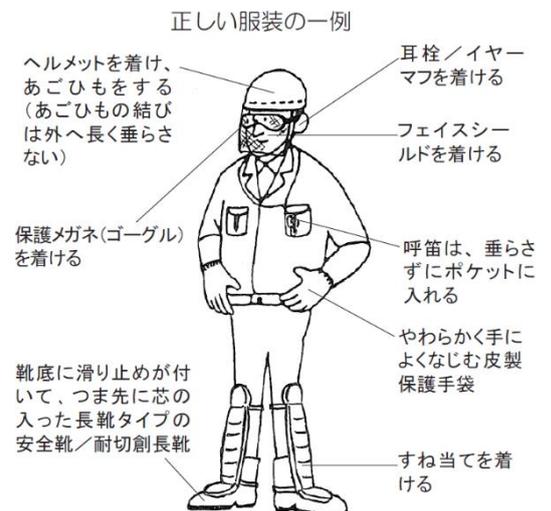
先に充電製品として共通の注意事項を述べましたが、バッテリー刈払機として、さらに次の注意事項を守って下さい。

警告

- 故障や感電のおそれがあるため濡らさないでください。
- 小石などが飛び散りケガのおそれがあるため、飛散防護カバー類は必ず取り付けて作業してください。
- 異物が跳ねてケガのおそれがあるため、作業前に小石、針金、空きカン、空きビンなどの異物を取り除いてください。
- 事故の原因になりますので、使用中は半径 15m 以内に他の人や動物を近づけないでください。
- ケガの原因になりますので、本機は両手で確実に保持してください。
- ケガの原因になりますので、使用中は回転部に手や顔を近づけないでください。
- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことを良く確認してください。破損、亀裂、変形があると、けがや事故の原因になります。
- 使用していないときは、バッテリーを本機から取り外してください。
- 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときには、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理をお申し付けください。そのまま使用を続けるとケガの原因になります。
- 体内にてペースメーカーを使用している方は使用しないでください。ペースメーカーが誤作動をおこす可能性があります。
- 図のように、飛散物から目を保護するゴーグルタイプの保護メガネ、顔を保護するフェイスシールド、騒音から耳を保護する耳栓やイヤーマフ、落下物から頭を保護するヘルメット、振動から手を保護する保護手袋、飛散物や刈刃から足を保護する滑り止め付の安全靴とすね当てを必ず着用してください。

- 衣服は長袖・長ズボンで、袖・裾じまりの良い身体にぴったり合ったものを着用してください。だぶついた服や、フリル、飾りヒモなどの付いた服、ネクタイ、ネックレスなどは、機械やヤブにからまったり、回転部へ巻き込んだりする危険があるので、着用禁止です。

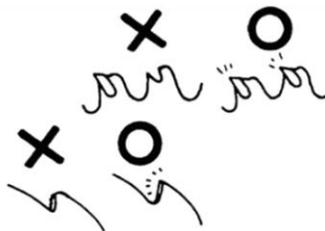
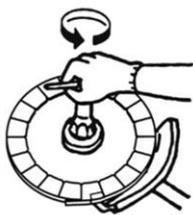
- 長い髪の毛は、機械の回転部に巻き込まれないように、肩より上でまとめてください。
- 体調の悪いとき、また酒酔のときには、絶対作業しないでください。
- 本機を16歳未満の人に使用させないでください。
- 複数の人で作業する場合、接近すると危険ですから、笛、サイレンなどを用意して離れた位置から合図出来るようにしてください。作業中に人などが、作業者を呼ぶときも同じように笛などで離れた位置から合図することを決めておいてください。



⚠ 警告

- 夜間および風雨のときは、見通しが悪く事故の原因になりますので作業は行わないでください。
- 作業する場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に充分確かめてください。
- 肩掛バンドに亀裂や劣化がないか始業時点検してください。万一の場合に、機械から容易に離脱出来るよう、サビツキ、バネの状態、材質の変化、破損の有無を点検してください。
- 緊急離脱装置の使い方を事前に練習してから作業してください。
- 各部のネジを点検し、ゆるみのあるところは増締めしてください。また、刈刃取付用ナットは、付属工具のコンビボックススパナで確実に締め付け、飛散防護カバーを必ず取り付けてください。
- 作業中もゆるみがある場合は、作業を中断し点検を行ってください。
- 安全に使用するために、刈刃の状態（目立ての善し悪し、刈刃の割れ、過熱による変色、チップのトビ、カケなど損傷の有無）を必ず点検してください。それら損傷のある刃は危険ですので絶対に使用しないで交換してください。また、刈刃の状態が悪いと疲労や機械の故障（メインパイプ折れ）の原因になります。

締付方向



- 刈刃やその他の部品は当社純正部品を使用してください。間に合せのもの、粗悪なものは事故の原因になりますので使用しないでください。
- 壊れたフェンスの近くでは作業しないでください。針金類は、回転する刈刃にからまるとムチのようになって、はねまわります。
- 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
- 次の場合、必ず作業機を停止してバッテリーを取り外してください。
 1. 刈刃部に巻き付いた、草やひもなどを取り除くとき。
 2. 各部の点検、整備、清掃のとき。
- 作業姿勢は、両足を適当な間隔に開き、右足を前に出して体重の移動が容易で安全な姿勢をとってください。足の運びは、右足からすり足で前に進み、左足がこれに続くという進み方で作業を行ってください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 刈払いの操作（左右への動かし方）は、手（腕）の力だけで行わず、身体全体とくに腰でバランスをとって行ってください。
- 機械をむやみに振り回したり、刈刃を膝より高く上げての作業はしないでください。

×



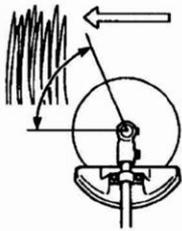
×



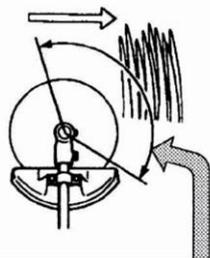
警告

- 刈刃（金属刃）の動かし方は、右から左に操作してください。逆に左から右へ操作すると「キックバック」により危険な現象が起きます。この操作は、しないでください。夜間および風雨のときは、見通しが悪く事故の原因になりますので作業は行わないでください。足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

正しい操作



危険な操作

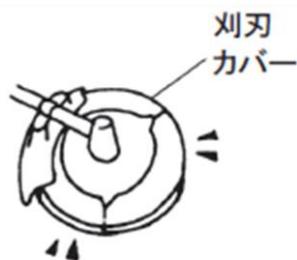


「キックバック」

この範囲で刈刃が硬いものに当たると、反動で刈刃が予期しない方向へ、はねかえされます。

注意

- 本機の使用用途は雑草刈用です。枝打などに使用しないでください。
- 付属刈刃は刈払機用です。他の用途には使用しないでください。
- 身体を冷やさないような服装で作業してください。
- 安全作業にとって効果的です。作業開始前に準備体操を行ってください。
- 工具、薬品（虫さされ他）などを携帯してください。
- 機械に異常（異常音、異常振動、不具合）を感じたときは、ただちに作業を中止して機械を修理してください。
- 作業終了後は刈刃に刈刃カバーを付けてください。刈刃カバーがないと機械が転倒したときや刈刃に手や足を引っ掛けたとき、事故を起こすことがあります。



■ 1日の作業時間について

- ・疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因になります。作業計画にはゆとりをもたせてください。
- ・1日の作業時間は、本機、または取扱説明書に記させている『周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値』により、厚生労働省通達で次のように決められています。

周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値が

- ①10m/s²より小さい場合：1回の連続作業時間は30分以内、1日の作業時間は2時間以内。
- ②10m/s²より大きい場合：1回の連続作業時間は30分以内、1日の作業時間は次式より算出した時間以内。

$$T = 200 \div (a \times a)$$

T：1日の最大作業時間〔時間〕

a：周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値〔m/s²〕

本製品の周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値

名称	BDC1825Li	BDC3650Li
周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値 〔m/s ² 〕 ※1	2.5未満	3.3
質量〔kg〕 ※2	4.0	4.2

※1：『周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値』はISO22867：2004により測定しています。

※2：質量はバッテリー、肩掛バンド、刈刃、飛散防護カバー、カバー取付金具類を除いた質量です。

■ 使用前の点検・整備について

製造時の振動レベルを劣化させないため、作業する前に必ず各部の点検・整備を行い、異常がないことを確かめてください。とくに、次のような異常がある場合は速やかに使用を中止し、最寄りの販売店に点検・整備をご依頼ください。

- ・振動が大きくなったなど、異常な振動を感じたとき。
- ・部品のヒビ、損傷、劣化、破損、固定部のゆるみがあるとき。
- ・部品の変形があるとき。
- ・その他、異常を感じたとき。

5 ⚠️ 警告ラベルの取扱い

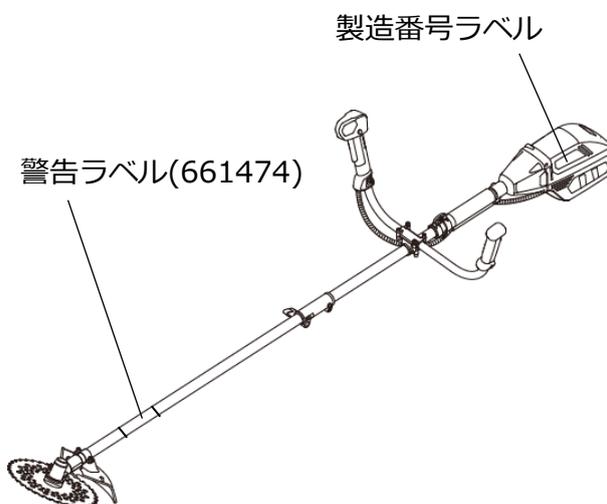


- 警告ラベル表面の汚れや泥をとり、いつも表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したときは必ず新しいラベルと交換し、同じ場所に貼ってください。
- 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、その部品にも必ず新しい警告ラベルを同じ場所に貼ってください。

※本機には下の図に示す位置に次の警告ラベルが貼ってあります。

次ページの「警告表示マークについて」にその内容を記載していますので、よく読んでその意味を充分理解した上で、表示内容を守って作業してください。また機種名、製造番号は、アフターサービスを受けるときに必要です。ご確認の上、メモしてください。

警告ラベル (661474)



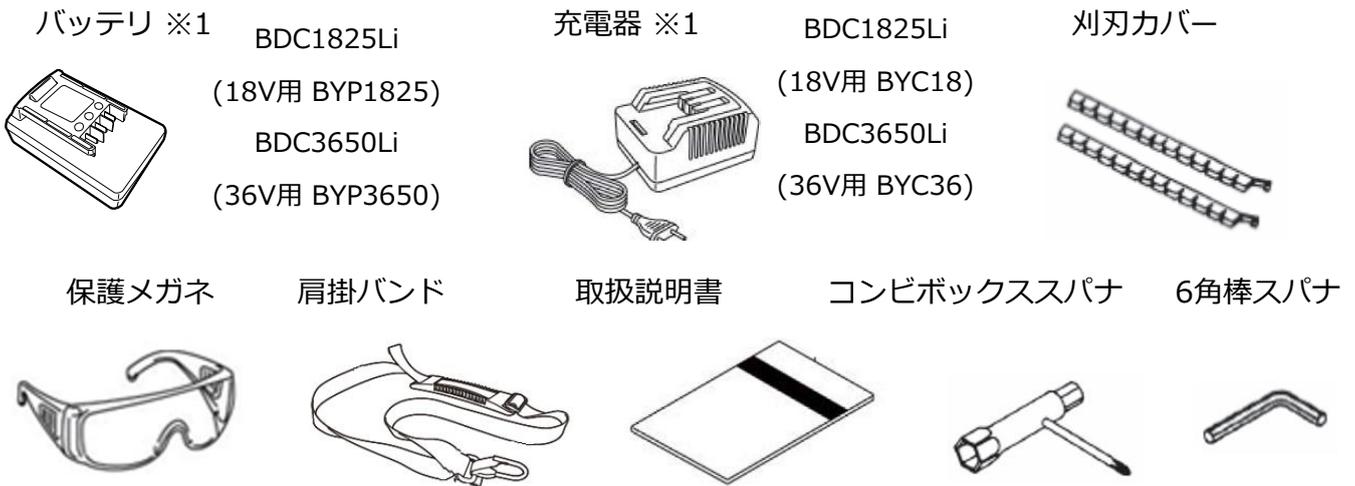
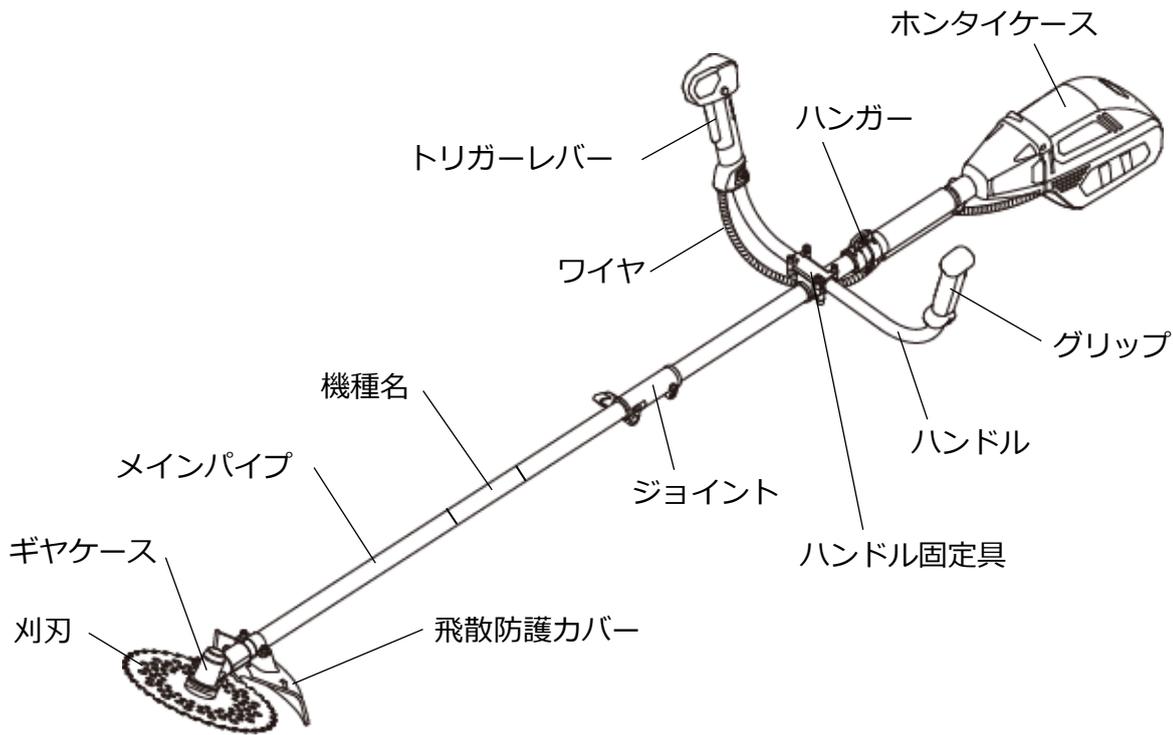
■ 警告表示マークについて

警告ラベルには次のようなマークが表示してあります。マークの意味を理解してから使用してください。

	安全に使用していただくために、本機についての注意事項を理解し、取り扱う時は十分注意してください。
	作業中は15m以内に人、動物が近付かないようにすること。複数台で作業するときもこの距離を守ってください。
	雨天での作業や、水濡れの可能性のある場所での作業は行わないでください。故障の原因となります。
	作業時には、ヘルメット・保護メガネ・防音保護具（耳栓など）を必ず着用してください。
	感電のおそれがあるため、分解はしないでください。また、メンテナンス作業はバッテリーを取り外して作業を行なってください。

6

各部のなまえと付属品



※1: バッテリ・充電器の形状は18Vと36Vで異なります。

No.	品名	部品番号 (BDC1825Li)	部品番号 (BDC3650Li)	1台分数量
1	バッテリー	661452	660950	1
2	充電器	661453	660956	1
3	取扱説明書 (保証書兼用)	661047		1
4	保護メガネ	661472		1
5	肩掛バンド	661111		1
6	コンビボックススパナ	661109		1
7	六角棒スパナ	661110		1
8	チップソー 230mm	661510		1
9	刈刃カバー	661511		1

オプション、消耗品

品名	部品番号
刃物ボスB (刃押え金具)	467640
刃物ボスA (刃受金具)	467641
刈刃取付用座金付きナット (ナイロンナット)	467642
ポケットカッターストロング (ナイロンヘッド)	466209
ナイロンコード (角2.2 x 170mm x 30本)	467116
ナイロンコード (丸1.6 x 170mm x 30本)	467117
グリス	211337
BIG-M 純正チップソー 230mm	467077
フォレストヘルメット	587526
ファンクショナルブーツ	サイズ cm 24.0 (409571) 25.0 (409572) 25.5 (409573) 26.0 (409574) 26.5 (409575) 27.5 (409576)

7 組立・準備



警告

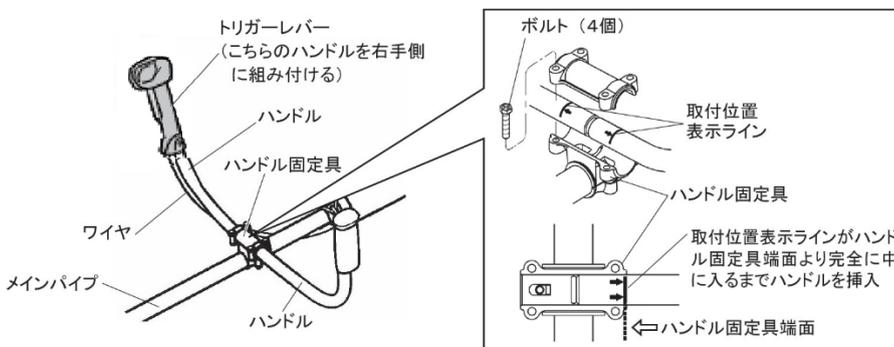
● 本機の調整や組立のときは、必ずバッテリーを取り外してから作業してください。

刈刃と飛散防護カバーは工場出荷時に取り付けられています。

取り外した際は下記をよく読んで取り付けてください。

● ハンドルの組立

1. 左右のハンドルを、ハンドルに表示されている取付位置表示ライン（黒い太線）がハンドル固定具端面より完全に中に入るまで挿入してください。その際、トリガーレバーの付いているハンドルを右手側に組み付けてください。
2. 左右のハンドルは極端に前後の傾斜をつけることなく、図のようにメインパイプとほぼ直角になるようにボルトで仮止めしてください。
3. 付属の工具でボルトを片締めにならないように確実に締め付けてください。



- 配線が作業の妨げにならないように注意してください。
- ハンドルの向きに注意してください。

● 飛散防護カバーの取付・取外し

飛散防護カバーは工場出荷時に取り付けられています。

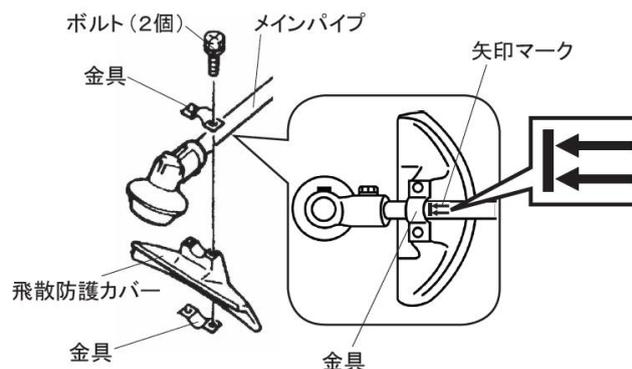
取り外した際は下記をよく読んで取り付けてください。



警告

● 飛散防護カバーは必ず取り付けてください。取り付けないで作業するとゴミや刈刃で飛ばされた砂利や石などが作業者に向かって飛んできて、失明などの重大事故を起こす危険があります。

1. メインパイプの矢印マークの位置に飛散防護カバーを図のように上下から金具ではさんでください。
2. 付属の六角棒スパナでボルトを均等に締め付けて固定してください。



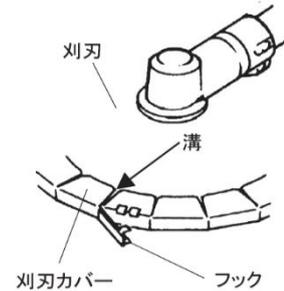
● 刈刃カバーの取付・取外し



注意

- 刃先でケガをしない・させないように作業中以外は、刈刃カバーを取り付けてください。
- 刈刃の刃先に注意して作業してください。
- 刈刃カバーを取り付ける際には必ず保護手袋を着けて作業してください。
- 作業を始める前に、刈刃カバーを取り外してから作業してください。

1. 刈刃の刃先を刈刃カバーの溝に押し込んで、フックで固定してください。
2. 取り外すときはフックを外し、刈刃カバーを外側に広げるようにして取り外して下さい。



● 作業機の組付・分割

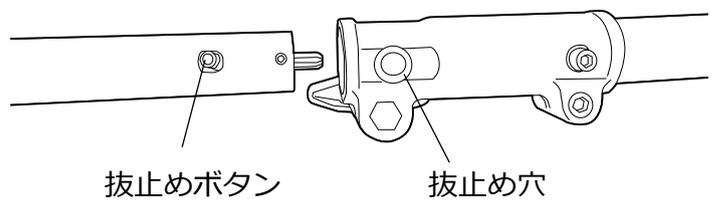
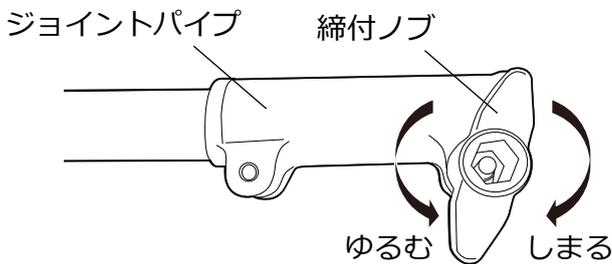


注意

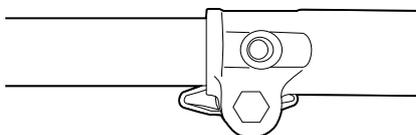
- 作業機の組付・分割時は必ずバッテリーを外してください。思いがけず刈刃が回転してケガをするおそれがあります
- 抜止めボタンが下がったまま使用しないでください。作業機が外れてケガをするおそれがあります。
- 組付後、必ず締付ノブをしっかりと締め付けてください。締め付けないと作業機が外れてケガをするおそれがあります。

(1) 組付

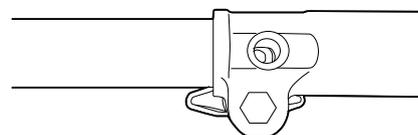
1. 締付ノブをゆるめてください。
2. 図のように抜止めボタンと抜止め穴の向きを合わせてジョイントパイプに差し込んでください。
入りづらい場合は抜止めボタンを押し、パイプを回転させながら入れてみてください。
指をはさまないように注意してください。
3. 抜止めボタンがしっかりと抜止め穴に入っていることを確認してください。
4. 締付ノブを締め付け、作業機をしっかりと固定してください。



○ 抜止めボタンが上がっている



× 抜止めボタンが下がっている



(2) 分割

1. 締付ノブをゆるめてください。
2. 抜止めボタンを押しながらメインパイプを外してください。
3. 脱落防止のため締付ノブを締め付けておいてください。

※締付ノブ、座金、ボルト、ナットをなくさないようにしてください。

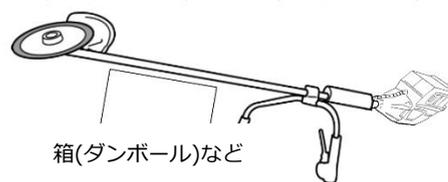
● 刈刃の選定・取付・取り外し



注意

- 刈刃を取り扱うときは刃先に注意し、保護手袋を着けて作業してください。保護手袋を着けないとケガをします。
- 刈刃取付用ナットは左ネジです。
- 刈刃は取付方向（回転方向）をよく確認して取り付けてください。
- 刈刃の取付・取り外しは刈刃カバーを取り付けて作業してください。

- 刈刃を取り付ける際は、図のように機体をさかさまにしてください。刈刃を正しく取り付けやすくなります。
- ギヤケースが下がってしまう場合は、メインパイプの下に箱(ダンボール)などをおくと作業がしやすくなります。



(1) 刈刃の選定



注意

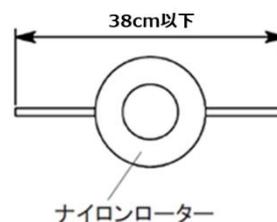
- 刈不適切な刈刃の使用は、傷害事故が起きる原因になります。また、専用刃物以外の使用は禁止です。

・チップソー……………雑草刈用に設計されています。

・ナイロンローター…背の低い軟らかい雑草、芝刈り用に設計されています。金属刃ではなくナイロンのコード（ひも）を回転させる方式なので、障害物（ブロック塀など）のすぐ際まで刈り取るのに適しています。

注意

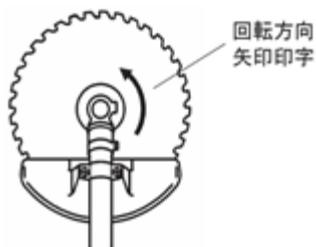
- 刈刃は当社純正部品を使用してください。メーカー指定の標準刈刃より大きい刈刃を使用すると、故障の原因になります。
- **本製品はチップソー 230mmを使用してください。**
- ナイロンローターは金属刃より抵抗が大きいため、取扱操作を誤ると故障します。ご使用の際は次の点をお守りください。
 - *専用のナイロンローターを使用してください。
 - *必ず高速で使用してください。（金属刃よりも運転時間が短くなります。）
 - ***ナイロンコードは36V：角2.2mm、18V：丸1.6mmを使用してください。**
 - ***ナイロンコードの長さはコードの端から端まで38cm以下にしてください。**
 - ***できるだけ先端部分で少しずつ刈るようにしてください。**



(2) 刈刃の取付・取り外し

【刈刃の正しい取付方向】

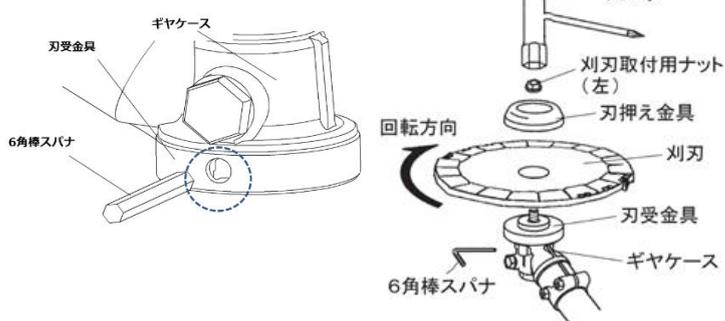
刈刃の矢印印字面をギヤケース側に向けて取り付けてください。



1. 刃受金具に六角棒スパナを差し込み、刃受金具を回らなくしてから刈刃取付用ナットを付属のコンビボックススパナで右に回してゆるめてください。刈刃取付用ナットと刃押え金具を取り外してください。
2. 刃受金具の凸部と刈刃の取付穴を合わせてください。刈刃、刃押え金具、刈刃取付用ナットの順に取り付け、六角棒スパナを差し込み刃受金具を回らなくしてから付属のコンビボックススパナで左に回して、刈刃取付用ナットを確実に締め付け刈刃を固定してください。
3. 刈刃の締付が終わったら六角棒スパナを忘れずに取り外してください。
4. 刈刃を取り外すときも、1.と同様にして、刈刃が回らないことを確認して刈刃取付用ナットをゆるめて、取り外してください。

メモ

- ・六角棒スパナを差し込む前に刃受金具とギヤケースの穴を合わせてください。
- ・付属のコンビボックススパナ以外の工具で締め付けしないでください。刈刃取付用ナットおよびネジ部を破損する原因になります。

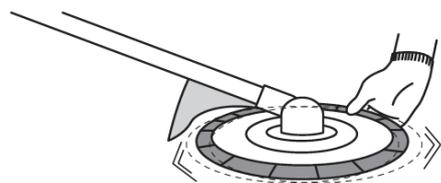


警告

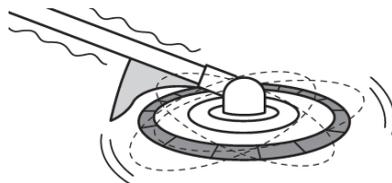
- ・作業前には必ず、刈刃取付用ナットと刃押え金具の摩耗を点検してください。刈刃取付用ナットと刃押え金具がすり減り始めたら、交換してください。すり減ったまま使用すると、刈刃が脱落したり、ケガをするおそれがあります。
- ・始業前、作業中など刈刃取付用ナットのゆるみがないことを点検してください。正しく行わないと刈刃が脱落したり、ケガをするおそれがあります。

注意

- ・刈刃の取付穴が刃受金具の凸部からずれていないことを確認してください。ずれている場合は刈刃を取り付け直してください。正しく取り付けしていないと異常振動し、ケガや機械の故障の原因になります。刈刃を手で回し、刈刃のブレがないことを確認してください。



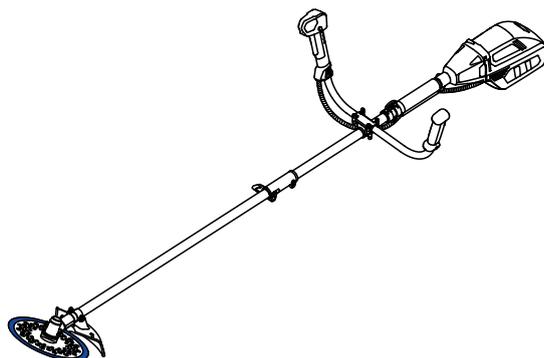
締付不足で、つかんで揺らすとガタガタする場合



偏芯していて、回転させるとグラグラする場合

組立完了

これで本機の組立は完了です。図のように正しく組立られているか、もう一度確認してください。

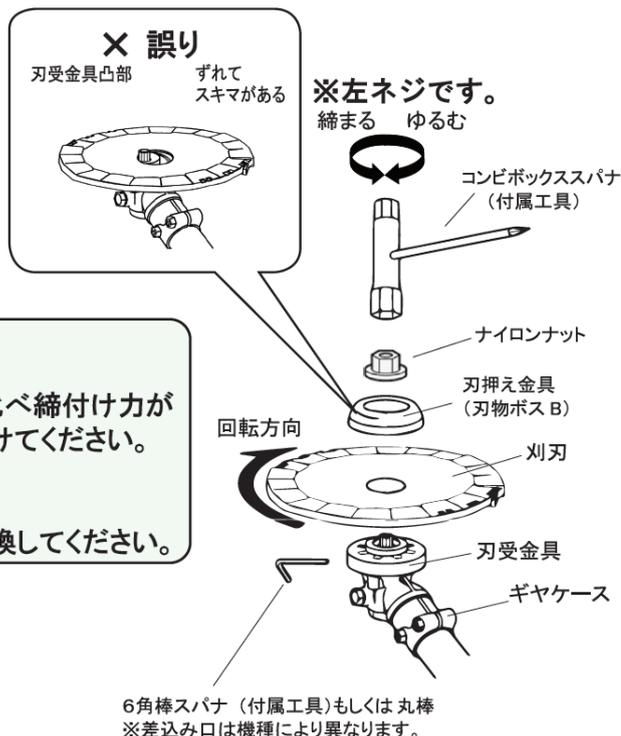


[刈刃の取付点検]

刈刃の損傷・変形の有無を点検し、異常があれば新しい刃と交換してください。刃受金具、刃押え金具、ナイロンナットのゆるみと摩耗を点検してください。交換は付属工具を使用し、刃の表裏や刃受金具の凸部からずれないように注意してください。

刈刃締付用ナイロンナットについて

- 左ネジです。左に回して締まります。
- 緩み止め機能付きのナットです。通常のナットに比べ締付け力が必要です。締める際は、最初から付属工具で締付けてください。さらに、ナット座面が刃押え金具に接触した後に、確実に締付けてください。
- 作業前、作業後に点検を行い、磨耗していたら交換してください。

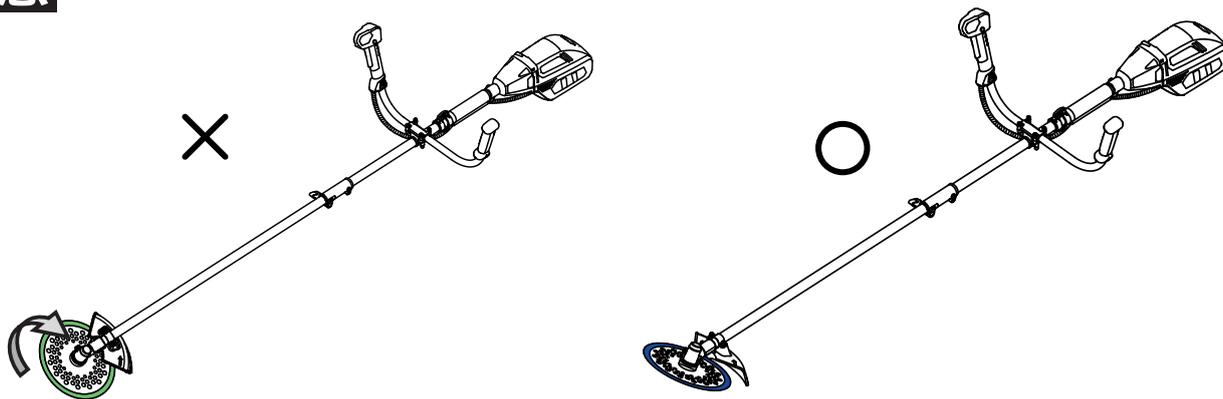


分割式刈払機の組立後、締付ノブ、ナット、ボルトなど、しっかりと締め付けられているか確認してください。



注意

- 図のように作業機が回転した状態では使用禁止です。組み付け直してください。



● バッテリーの充電方法

▲ 警告

- 屋内の乾燥した場所で充電してください。水気があると、ショートや感電の可能性があります。
- 直射日光の当たらない、風通しの良い場所で充電してください。高温の環境で充電し続けると、バッテリーの劣化、又は、不具合を招く可能性があります。異常を感じたら、直ちに当社問い合わせ先にお問い合わせください。
- 必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。濡れた手で作業すると、感電の可能性があります。
- 充電には必ず標準付属の専用充電器をご使用ください。他の充電器を使うと火災の可能性があります。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。

▲ 注意

- バッテリーのネジを外したり、分解は絶対しないでください。
- 充電中の充電器は熱くなりますが、異常ではありません。充電器が手で触れられないほど熱くなった場合など、異常を感じたときには電源プラグを抜いて充電を中止してください。

注意

- 本機の充電は屋内で行うことを基本としています。直接日光が当たる場所で充電はしないでください。故障の原因となります。
- 充電器につないだままで長時間放置しないでください。過充電となりバッテリーの寿命を縮めます。
- バッテリーの+端子と-端子を金属類で接触しないでください。バッテリーが使用できなくなります。
- バッテリーの充電をしないときは、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 塩化ビニールなどの床で充電している場合、床材の成分で、ゴムなどで汚れ、落ちにくいことがあります。

◎ 開梱後使用前に、バッテリーの充電を行ってください。

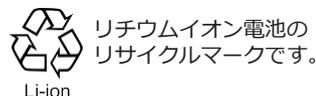
お買い上げ時のバッテリーは十分に充電されていません。(スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

充電回数が多くなったり、年月が経過しますと、1回の充電で使用できる時間が短くなってきます。満充電しても作業時間が半減したときはバッテリー寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーのリサイクルご協力のお願い

本製品のバッテリーはリチウムイオン電池を使用しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。バッテリーの交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みのバッテリーは、「充電式電池リサイクルボックス」のあるリサイクル協力店にお持ちいただくか、お買上げの販売店または当社問い合わせ先にお問い合わせください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
 - ・端子部にテープを貼るかポリ袋に入れる。
 - ・分解しない。



弊社は有限責任中間法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

使用済みのバッテリーのリサイクルにご協力ください。

JBRC ホームページ (<http://www.jbrc.com>)

注意

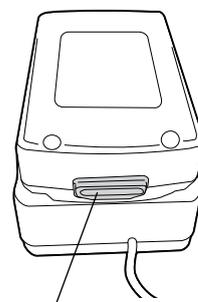
使用直後や直射日光に長時間さらされたり、バッテリーが熱いときは充電できません。
充電器からバッテリーを取り外し、バッテリーが十分に冷めてから、充電を行ってください。

18V用充電器

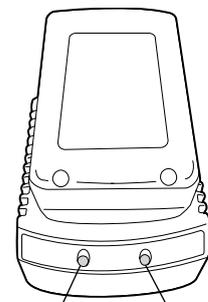
- ①本機からバッテリーを取り外します。その際、製品のスイッチ類にふれないよう注意します。
- ②充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込みます。ランプ 1 が緑色に点灯します。
- ③バッテリーを充電器に差し込みます。このとき、一番奥まで確実に入れてください。
- ④ランプ 2 が赤色に点灯して、充電が開始されます。
- ⑤充電が完了すると、ランプ 2 が緑色の点灯に変わります。バッテリーのロック解除ボタンを押し、充電器からバッテリーを取り外し、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

●18V用充電器のランプについて

ランプの状態		表示内容
1	2	
● 緑	○	ランプ 1「緑点灯」 ランプ 2「消灯」 電源に差し込んだ状態です。
● 緑	● 赤	ランプ 1「緑点灯」 ランプ 2「赤点灯」 充電中です。
● 緑	● 緑	ランプ 1「緑点灯」 ランプ 2「緑点灯」 充電完了
● 緑	● 緑 ● 赤	ランプ 1「緑点灯」 ランプ 2「緑/赤点滅」 バッテリー、充電器の異常またはバッテリーが高温のため充電不可能な状態です。バッテリーを外し、バッテリーを冷まして再充電を行い、それでも赤点滅する場合は、バッテリーの寿命、充電器の故障のいずれかになります。



ロック解除ボタン



ランプ 1

ランプ 2

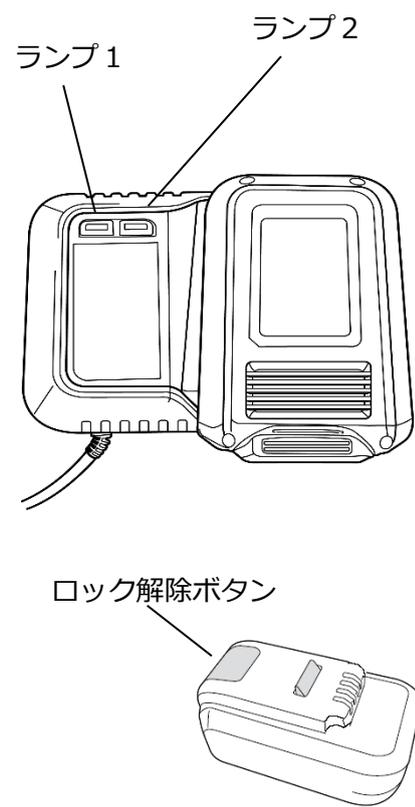
18V用バッテリーに残量表示機能はありません。

36V用充電器

- ①本機からバッテリーを取り外します。その際、製品のスイッチ類にふれないよう注意します。
- ②充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込みます。ランプ 2 が赤色に点灯します。
- ③バッテリーを充電器に差し込みます。このとき、一番奥まで確実に入れてください。
- ④ランプ 1 が緑色に点滅して、充電が開始されます。
- ⑤充電が完了すると、ランプ 1 が緑色の点灯に変わります。バッテリーのロック解除ボタンを押し、充電器からバッテリーを取り外し、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

●36V用充電器のランプについて

ランプの状態		表示内容
1	2	
○	●赤	ランプ1「消灯」 ランプ2「赤点灯」 電源に差し込んだ状態です。
●緑	●赤	ランプ1「緑点滅」 ランプ2「赤点灯」 充電中です。
●緑	○	ランプ1「緑点灯」 ランプ2「消灯」 充電完了
●緑	●赤	ランプ1「緑点滅」 ランプ2「赤点滅」 交互に点滅 バッテリーまたは充電器に問題があるか、またはバッテリーが高温/低温であるため、バッテリーを充電できません。バッテリーを取り外して冷やしてから、充電してから充電してください。
○	●赤	ランプ1「消灯」 ランプ2「赤点滅」 バッテリーまたは充電器が故障です。使用を直ちに中止し修理を依頼してください。



36Vバッテリーの残量表示機能 ※18V用バッテリーにはありません。

36V用バッテリーには残量表示機能が付いています。
チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが数秒間つきます。

表示される残量は、ご使用の状況や気温などによって、実際の残量と異なる場合があります。

バッテリー表示ランプ	バッテリー残量
■ □ ▨ 点灯 消灯 点滅	
■ ■ ■ ■	75%-100%
■ ■ ■ □	50%-75%
■ ■ □ □	25%-50%
■ □ □ □	0%-25%
▨ □ □ □	充電してください。



チェックボタン バッテリー表示

8

作業の準備

●保護具の装着



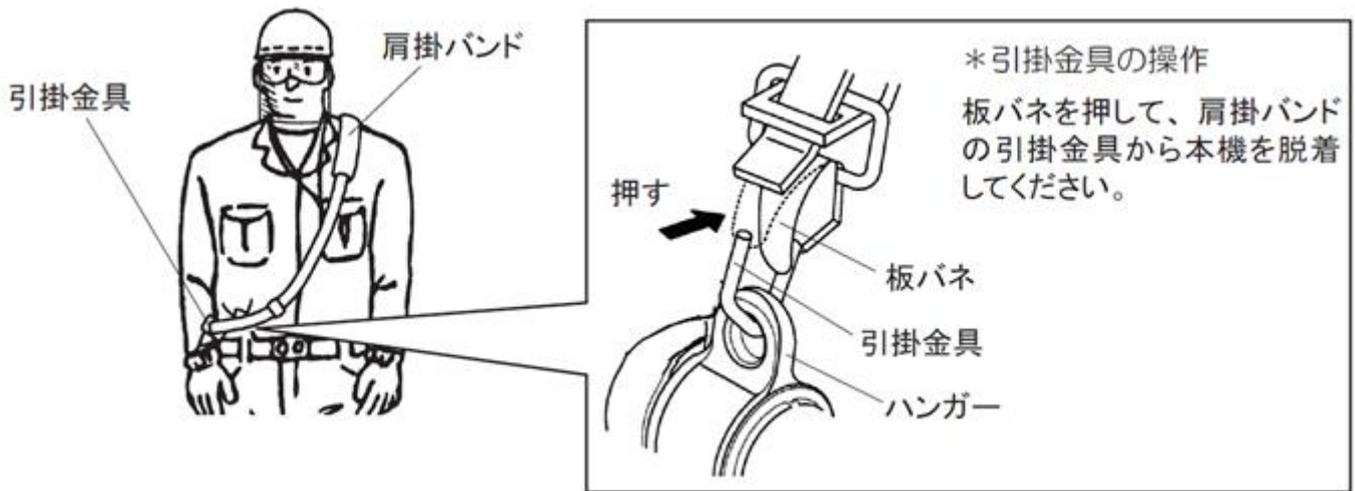
警告

- 服装は長袖・長ズボンなどを着用し、身体の露出する衣服は避けてください。シャツの裾などは必ずズボンの中に入れて、作業中に引っ掛けることのないようにしてください。また、図の「正しい服装の一例」のように必ず保護具を着けてください

●肩掛バンドの使い方

(1) 装着・使い方

- 1.肩掛バンドは消耗品です。切れ、ほつれ、損傷などがないことを確認し、図のように装着してください。
- 2.図のように、肩掛バンドの引掛金具を本機のハンガーに引っ掛けてください。
- 3.刈払機を身体の右側に吊り下げ、刈刃が地面と平行になるようにバンドの長さを調整してください。



(2) 緊急離脱装置の使い方

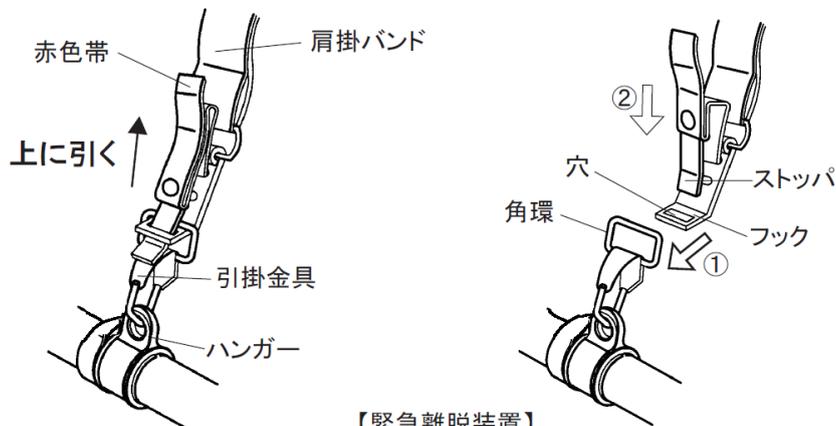
- 1.肩掛バンドの緊急離脱装置は図のように赤色帯を上へ引くと、本機が肩掛バンドから離れます。作業の前に電源を停止した状態で安全な場所で操作の練習をしてください。

緊急離脱装置の組み立て方

- 1.図のように角環にフックを通してください。
- 2.ストッパをフックの穴に挿入してください。

注意

- 緊急離脱装置は、緊急時以外使用しないこと。



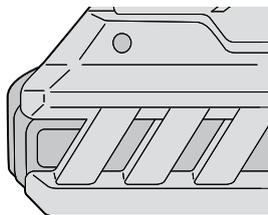
● バッテリーの取り付け・取り外し方



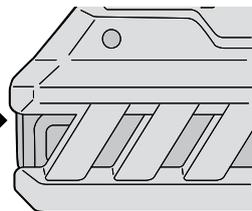
警告

- 不意な動作を防ぐため、バッテリーの取り付けは作業直前に行ってください。
- バッテリーは確実に本機に取り付けてください。差し込みが不十分な場合、外れて事故や故障の原因になります
- バッテリーの差込口にゴミなど異物がないか確認してください。感電やケガの原因になります。
- バッテリーを取り外す際は、スイッチに触れないでください。不意に動き、事故の原因になります。

- 購入時、バッテリーは十分に充電されていません。使用される前に充電器で充電してからご使用ください。
- バッテリーを本機から取り外す時は、バッテリーのロック解除ボタンを押しながらスライドさせると、取り外せます。
- 取り付ける時は、バッテリーを本機の溝に合わせ、奥まで取り付けてください。この際、バッテリーがロックされるまで、奥まで確実に取り付けてください。
- バッテリーのロックは2段階です(18Vを除く)。1段階目では使用できません。バッテリーが本体に完全に入るまで押して下さい。※ 1段階目の状態では使用することはできません。



1 段階目



2 段階目

● トリガーレバーの操作方法

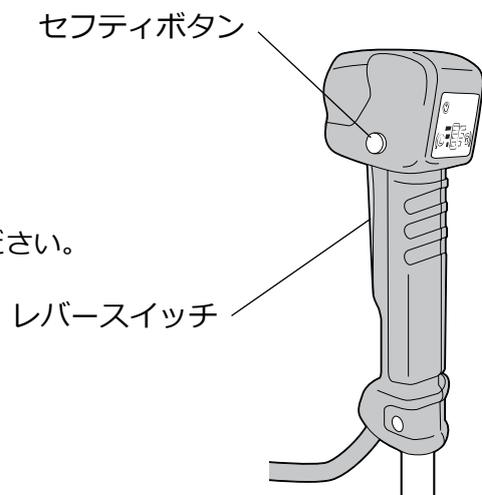


警告

- トリガーレバー操作時は刃物が何も触れていないことを確認してください。事故の原因となります。

(1) 操作方法

1. セフティボタンを押した状態で、レバースイッチを握ると動き出します。
2. レバースイッチを離すと自動的にロック機構が働きレバースイッチが入らない状態になります。再度、セフティボタンを押した状態でレバースイッチを握ってください。

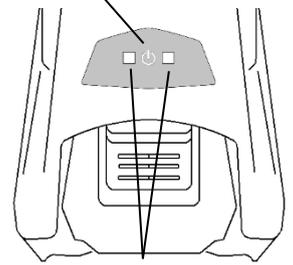


(2) ボタン操作(電源、スピード)

- 電源ボタンを長押しすると電源が入ります。再び押しすと電源が切れます。
- 電源ボタンを押した後、何も作業しないと自動的に電源が切れます。
- スピードボタンを押して刈刃の回転を調整することができます。
- スピードボタンを押すたびに回転が変わりインジケータが点灯します。
※低速(ランプ1個) → 中速(ランプ2個) → 高速(ランプ3個) → 低速(に戻る)

- 電源ランプの赤が点灯したら保護機能が働いています。レバースイッチを握りなおす、電源を一度切る、バッテリーを充電する・交換するなど行ってください。
- 電源ランプの赤が点滅したらバッテリーを充電してください。
- 作業状況を確認して様子を見て回転数を変更して下さい。
- ボタン操作を行う際は刈刃が停止していることを確認してから行ってください。

電源ボタン



電源ランプ詳細

(左：赤、右：緑)



警告

- 逆回転ボタンを操作しても絡まった草などが取り除けない場合は、必ず電源を切り、バッテリーを外してから取り除いてください。
- 作業の開始時には回転方向を確認してください。
- 逆回転ボタンの操作は危険ですので、必ず刈刃が停止してから行ってください。



逆回転ボタン

スピードボタン

回転インジケータ

(3) ボタン操作(逆回転)

逆回転をさせることで草の絡まりやつまみを取り除くことができます。

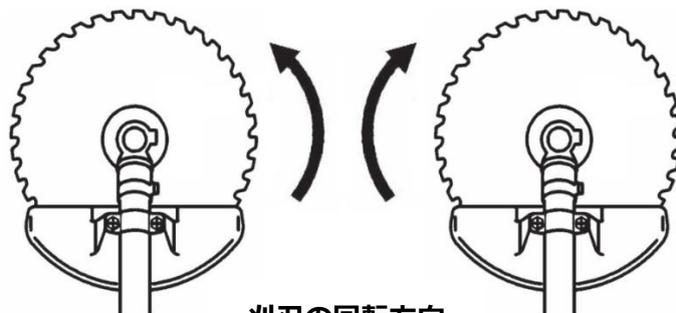
※絡まりが多いときは作業を中断し取り除いてください。

- 逆回転ボタンを押すと回転インジケータが点滅します。
- レバースイッチを引くと刃物が逆回転(右回転)します。
- 逆回転は自動で停止します。自動的に正回転(左回転)に戻ります。
- レバースイッチを途中で離すと逆回転(右回転)のままになる場合があります。その場合はもう一度逆回転ボタンを押して正回転(左回転)に戻してください。



注意

- 逆回転で作業は行わないでください。
- 草の絡まりが多い場合、逆回転で取り除けないことがあります。その際は作業を中断し、バッテリーを取り外してから草を取り除いてください。



正回転(左)

刈刃の回転方向

逆回転(右)

●保護機能

◆ 過負荷保護機能

作業時に異常な負荷を感知すると、本機は自動停止して電源ランプの赤が点灯します。レバースイッチを放し、バッテリーを取り外してから過負荷の要因を取り除いてください。

◆ 過放電保護機能

バッテリー残量が少なくなると、本機は自動停止して電源ランプの赤が点滅します。レバースイッチを操作しても本機が動作しない場合はバッテリーを充電してください。

◆ 誤作動防止機能

電源ボタンを押すときにレバースイッチが入っていると電源ランプが点滅します。レバースイッチを離して再度、操作してください。

◆ 発熱保護機能

本機やバッテリーが熱くなると、本機は自動停止します。再始動前に十分に冷ましてください。

始業点検

その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。始業点検は毎回行うことにより、故障を未然に防止することができます。非常に大切な点検ですので必ず実施してください。

	点 検 項 目	処 置
刈刃	割れ、曲がり、ヒビ、磨耗、損傷など	交換
	取付状態、偏芯(ブレ)の確認	刈刃を正しく組み付ける
ギヤケース	刃押え金具 または 安定板の磨耗	交換
	刈刃取付用ナット または 刈刃取付用ボルト の磨耗	交換
	刈刃取付用ナット または 刈刃取付用ボルト のゆるみ	増締め
	刃物軸の動きが悪い	グリス補給
	ギヤケースのヒビ、損傷	最寄りの販売店に交換を依頼する
飛散防護カバー	カバー取付用ボルトのゆるみ	増締め
	破損	交換
ジョイントパイプ	分割部の組付状態、締付ノブのゆるみ	正しく組み付け、確実に締め付ける
両手ハンドル	ハンドル取付用ボルトのゆるみ	増締め
	ハンドル固定具のヒビ、損傷	最寄りの販売店に交換を依頼する
	ハンドル挿入不足 (取付位置表示ラインが見えている)	取付位置表示ラインが完全に隠れるまでハンドル固定具の奥に差し込み増締め
	左右ハンドルの変形、破損	最寄りの販売店に交換を依頼する
	左右グリップの劣化、破損	最寄りの販売店に交換を依頼する
肩掛バンド	ほつれ、切れ	交換
バッテリー	充電状態の確認	充電してから使用する
その他各部	各部のゆるみ、組付の点検	増締め、正しく組付を行う

9

刈払い作業

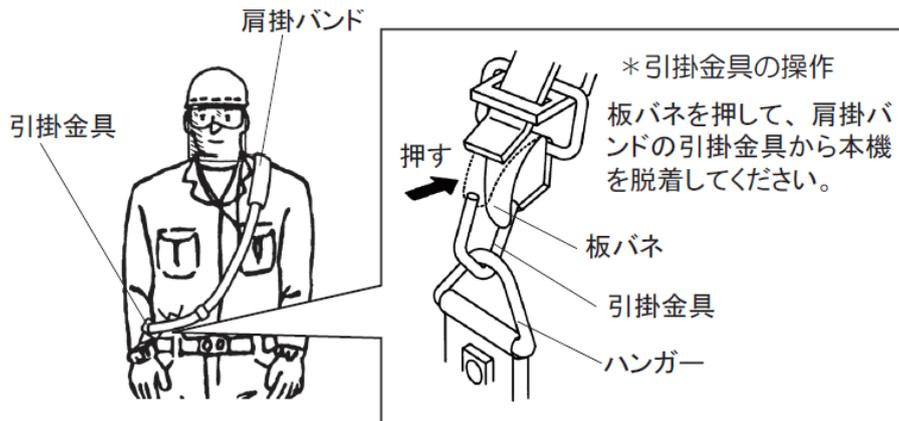


注意

- 作業を始める前に、刈刃カバーを外してから作業をしてください。
- 作業をしない場合はバッテリーを抜いて保管してください。

(1) 刈払機の保持

1. バッテリーを取り付けて刈刃が停止していることを確認してから本機のハンガーに肩掛バンドの引掛金具を引っ掛けてください。このとき刈払機が身体の右側にくるように持ってください。



刈払機が身体の右側にくるように持つ



(2) 刈払機の回転

回転数の目安は表を参照してください。

回転数の変更は刈刃が停止していることを確認してから行ってください。

作業時の回転数と運転時間は、表を目安にしてください。 〈標準付属の刈刃装着時〉

刈刃の種類	回転数
金属刃	低速/中速/高速
ナイロンローター	高速

運転時間	低速	中速	高速
18V 刈払機	80分	50分	35分
36V 刈払機	320分	65分	45分

※ナイロンローターは専用品をご使用ください。

※標準付属の刈刃をつけた状態の無負荷運転時間(最大値)です。作業時間は、作業対象、作業方法、作業環境などの条件により異なります。

※ナイロンローターの場合は運転時間は短くなります。

1. 左右のグリップを両手で保持し、セフティボタンを押した状態で、レバースイッチを握ってください。
2. レバースイッチを握っていると刈刃が、回り始めます。レバースイッチを離すと刈刃は停止します。



警告

- 刈刃が完全に停止するまでは刈刃に触れないでください。

(3) 刈払い作業



警告

- 作業を中断し身体から機械を離すときは、必ず電源を切りバッテリーを取り外してください。
- 安全のため、必ず保護具を着けて作業を行ってください。
- 刈刃にひもや草がからんだ場合は、電源を停止してから除去してください。また、灌木に刈刃がはさまった場合も、電源を止めてから灌木を押して、はさまっている部分を広げて外してください。食い込みから外れたら刈刃を点検して、ひび割れなどの異常がないか調べてください。異常がある場合は交換してください。
- 非常の場合は、緊急離脱装置の赤色帯を上引き上げてください。刈払機が肩掛バンドから外れて落下しますので、充分注意してください。
- 万一、自分のすぐ近くに人がいることに気が付いたときは、決して動かないでください。刈払機を持ったまま振り向いたりすると、回転する刈刃で人を死傷させます。まず電源を停止して、刈刃の回転が止まるのを確認してから対応してください。
- 屋外にバッテリーを放置しないでください。



注意

- 作業中、配線などを木の枝などに引っ掛けないように注意してください。



警告

- 金属刃装着時、左から右への操作は行わないでください。[キックバック]が起き、けがをする危険があります。



1. 刈刃の回転方向は左回転ですので、右側から左側へ寄せるとして刈ってください。
2. 作業姿勢は、両足を適当な間隔に開き、右足を前に出して体重の移動が容易で安全な姿勢をとってください。
3. 足の運びは、常に右足を先に出し、左足は右足の後ろに引き寄せスリ足で進んでください。
4. 刈払いの操作（左右への動かし方）は手（腕）の力だけで行わず、身体全体とくに腰でバランスをとって行ってください。
5. 緩やかな傾斜地で本機を使用する場合は、上下方向でなく、横方向（等高線方向）に作業してください。刈った草が谷側に寄るので、効率よく作業を行えます。また、急傾斜地では滑りやすく危険なため、本機を使用しないでください。
6. 障害物に注意し、刈刃が当たらないようにしてください。
7. 作業終了後は刈刃が止まるのを確認し電源を切り、バッテリーを取り外してください。保護手袋を着けて、刈刃の掃除、損傷有無の点検をしてください。刈刃に異常がない場合は刈刃カバーを付けてください。異常のある刈刃は刈払機から外して廃棄処分してください。

10 点検整備とその要領



警告

- 点検整備時は必ずバッテリーを取り外してください。バッテリーを本機に取り付けた状態で作業すると、感電や事故の原因となります。
- 本機の改造やバッテリーの分解はしないでください。

注意

- 点検整備の際は、必ず保護手袋を着用してください。

● 本機の清掃

注意

- 本機を水洗い並びに高圧洗浄を行わないでください。故障の原因になります。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

- 本機を清掃する際は、乾いた布できれいに拭いてください。

● ギヤケース

1. 刈刃交換時、また作業中随時、刃押え金具、刈刃、刃受金具を外し、ゴミを取り除いてください。また、刈刃取付用ナットと刃押え金具の摩耗を点検し、刈刃取付用ナットがすり減り始めたら、刈刃取付用ナットと刃押え金具を交換してください。

2. 図のようにボルトを外し、刃物軸を図の矢印の方向に手で回しながら耐熱用のリチウム系グリスを注入口の口元まで注入して、ボルトを元通りに締め付けてください。（20 時間毎に注入）

● 刈刃

1. 作業開始前と作業終了後には、必ず刈刃を点検してください。
2. 割れた刈刃は新品（当社純正部品）と交換してください。
3. 偏芯した場合は刈刃、刃受金具（当社純正部品）とも交換してください。

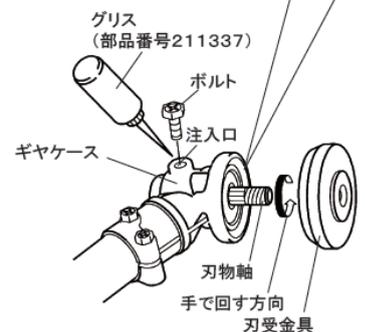
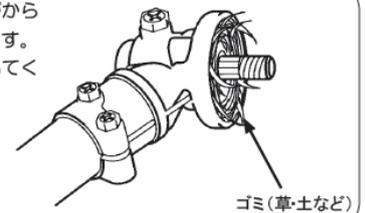
● ボルト・ネジ

各部のボルト、ネジのゆるみを点検し、ゆるんでいる場合は増締めしてください。また、摩耗していたら新品と交換してください。

● ジョイントパイプ

締付ノブの動きが固く（シブく）になったら分解し、ネジ部にグリスをごく少量塗ってください。その際、平座金、ナットなどをなくさないように注意してください。

刃受金具の内部に草などがからみついていることがあります。エンジン停止後、取り除いてください。



11 長期保管の方法

■ 格納するとき

格納するときは、下記の手順に従ってください。

1. バッテリを取り外し、本機の清掃を行なってください。
2. 直射日光を避け、高温多湿にならないところに格納してください。また、他人がさわらないように保管してください。
3. バッテリは本機から取り外し、箱などに入れて、屋内で保管してください。

バッテリーの保管

本体や充電器からバッテリーを外して箱などに入れ高温、多湿を避けて保管してください。

釘袋や金属類にバッテリーの端子が接触しないように保管してください。

満充電で保管せず、満充電から無負荷状態で10～15分程度運転してから保管してください。

バッテリーは使用していなくても半年に一度を目安に充電してください。より長くご使用いただけます。

12 故障と対策

本機に異常があるとき、次の内容が考えられます。販売店等にご相談になる前にご確認ください。

現象	考えられる原因	対策内容
動かない。	充電をしていない。	充電をする。
	バッテリーが熱く充電されていない。	バッテリーが冷めてから充電する
	バッテリーの挿入が不十分。	バッテリーを奥まで完全に挿入する。
	バッテリー接続部のゴミのつまり。	ゴミを除去する。
モータは動くが継続的に止まる。	バッテリーが熱くなっている。	バッテリーを冷やす。
作業中に止まる。	過負荷保護機能が作動している。	過負荷の要因を取り除く。 回転数を調整する。
	発熱保護機能が作動している。	バッテリー、本機を冷やす。
	誤作動防止機能が作動している。	レバースイッチを握り直す。
充電しない。	バッテリーの挿入が不十分。	バッテリーを奥まで完全に挿入する。
充電器のランプがつかない	電源コンセントに電源プラグが正しく取り付けられていない	正しく取り付ける。

上記についてお調べの上で、なおサービスが必要なときは販売店にご相談ください。

13 サービスについて

■アフターサービスについて

製品に関するお問合せ等は、まず、ご購入の販売店にご相談ください。
または、下記の全国共通の無料通話でもお受けいたします。

丸山サポートセンター

無料通話 0120-898-114

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝日を除く)

製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、
あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

- ①製品型式名、製造番号
- ②ご購入年月日
- ③販売店名
- ④故障内容

なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくおはなしてください

お願い

◎開梱後使用前に、バッテリーの充電を行ってください。

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。
(スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。)ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

保証書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お買い上げいただきました製品につきまして、本保証書に記載の通り保証をいたします。

お客様へのお願い

1. 所定事項が記入されていない場合、保証書は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。
2. 保証内容は保証規定に記載してありますのでご熟読ください。
3. 本書は再発行いたしませんので大切に保管ください。

型式名	
製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日から 1 年間
お客様	ご住所
	お名前 様 印
	TEL ()

住所・店名・TEL
販売店 印

記入していただいた個人情報は保証・整備等の目的以外には使用いたしません。



保証規定

お買い上げいただきました弊社製品について下記の保証をいたします。

1. 保証期間
お買い上げいただいた日から1か年とします。
2. 保証の内容
保証期間内に本機を構成する部品に、材料または構造上の欠陥が生じ、弊社がそれを認めた場合に限り、お買い上げの販売店、弊社営業所で当該の取替えまたは修理を無料でいたします。
なお、取り外した故障部品は弊社の所有となります。
3. 保証できない事項
保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
 - (1) 本書の提示がない場合。
 - (2) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3) 取扱説明書や安全作業説明書、本機に貼付されているラベルで示す取り扱い方法によらない使用、過失、点検不備、保管不備による故障。
 - (4) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
 - (5) 弊社が示す仕様の限度を超えて使用した故障。
 - (6) 純正部品以外の部品を使用したことによる故障。
 - (7) 消耗部品類。
 - (8) 弊社または弊社が認めた販売店およびサービス工場以外で修理した場合の故障。
 - (9) 天災、地震、火災、風水害、落雷その他不可抗力事故による故障や損傷。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - ・保証書を紛失された場合、再発行いたしません。
 - ・この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。



本社／東京都千代田区内神田 3-4-15 TEL.03 (3252) 2281 (営・代表) 〒 101-0047

この取扱説明書の部品番号は 661047

P/N. 661047-03 2006